



東京女子医科大学腎臓病総合センター泌尿器科

Tokyo Women's Medical University  
DEPARTMENT  
OF UROLOGY

## 逆行性腎盂造影を受けられる患者様への説明文書

---

### ■ 逆行性腎盂造影とは？

---

麻酔の後、碎石位(両足を開脚する姿勢)になって頂き、膀胱鏡を尿道から挿入します。それから尿管の膀胱への出口を確認し、カテーテルチューブを尿管に挿入して造影剤を注入します。この処置によって、尿管、腎盂の形状を詳しく調べることができます。

### ■ 何故この処置が必要か？

---

腎臓の機能が悪く、IVP(DIP)(血管内に造影剤を静脈注射(DIP は点滴)投与し、しばらく後にレントゲン撮影をし、尿路系を検査する方法)で造影されなかったり、IVP(DIP)にて尿管や腎盂に異常がありさらに詳細に調べる必要があると判断された場合、また、造影剤のアレルギーがある方などに施行します。

### ■ 合併症は？

---

感染:検査後、発熱、膀胱炎などの可能性があります。

疼痛:膀胱鏡の痛み、カテーテルの痛み、造影剤が腎臓に急に入った時の痛み。

尿管、腎の損傷:カテーテル操作中に尿管や腎臓を傷つけることがまれにあります。

尿道からの出血:膀胱鏡のために一時的に血尿が出ますが、通常は自然に治ります。

尿管の浮腫による尿量低下:尿管内の壁がカテーテルにより一時的に炎症を起こし、

一過性に尿の流れが悪くなる場合があります。

麻酔の副作用:麻酔薬へのアレルギー反応、仙骨麻酔での痙攣、血圧低下などの危険があります。

■ 対処方法

---

- ・感染を予防するために、検査後短期間、抗菌薬を服用して頂きます。また十分に水分補給をして下さい。
- ・尿管や腎臓を損傷したり、尿管が細く、尿の流れが不良であると判断した場合は、一時的に尿管に細い管(ステント)を留置することがあります。

不明な点がありましたら、主治医、担当医にお尋ねいただくか、泌尿器科外来までお知らせ下さい。

Tel. 03-3353-8111(直通)

**逆行性腎盂造影を受けられる患者さんへの説明文書**

東京女子医科大学泌尿器科学教室

Department of urology, Tokyo women's Medical University.

以上の点について説明を受け、よく理解し、処置に同意します。

平成 年 月 日 患者氏名

患者家族氏名

その他、特に説明した内容

a)

---

b)

---

以上の点について、患者、患者家族に十分説明しました。

説明医

---